

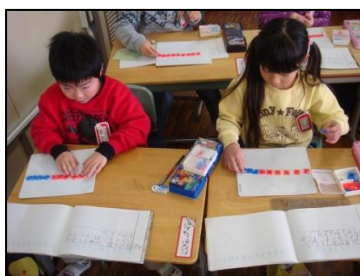
## 基礎・基本を定着させ、思考力・表現力を高めるための取組

【三郷市教育委員会】

- 1 学校・学年・教科： 小学校・全学年・算数科を中心として
- 2 ねらい： 基礎的・基本的な内容を定着させ、思考力・表現力の育成を図る。
- 3 取組

### (1) 思考力・表現力を高めるための授業改善

- ① 評価規準に基づく個別支援の手立ての工夫  
→「おおむね満足な状況」と「十分満足な状況」を明確にし、それぞれに達している児童・達していない児童への具体的手立てを考え、声かけや資料提示をする。
- ② 全学級での「学び方の共通化」(学習過程・黒板・ノート)  
→学習の流れを全クラスに掲示し、児童に学習の見通しをもたせる。また、ノートの取り方の例示を学年ごとに年度当初に配布し、学んだ内容がわかるノートづくりに努める。
- ③ 個の思考を表現する場の設定  
→個人で思考したことをすぐに全体の場で発表させるだけでなく、発達段階や目的に応じて、ペアや小グループ内で伝え合う機会も設ける。(一人→ペア→全体)
- ④ ワークショップ型授業研究会の実施  
→教材研究・指導案検討の段階から指導者を招聘し、指導を仰ぐ。その中で、授業を観る視点を明確にし、研究協議では改善点を中心に全職員で協議・検討する。



〈思考を表現する場〉



〈算数コーナー〉



〈ワークショップ型授業研究会〉

### (2) 基礎・基本の定着を図る授業時間外の活動

- ① 習熟の時間、個別指導の時間の確保
  - ・ チャレンジタイム (水曜日の業前15分間)  
→算数の補習(個人の進度によるプリント学習)を全校で行う。
  - ・ 学力向上タイム (第3金曜日の業前15分間) →各教科の補習を全校で行う。
  - ・ ぐんぐんタイム (月曜日の放課後45分間)  
→算数の補習・習熟を全校児童を対象に行い、同時に個別指導の充実を図る。
  - ・ サマースクール (夏季休業中の4日間)  
→中学生・保護者・地域のボランティアを活用し、個別指導の充実を図る。
  - ・ ○○チャレンジテスト (学期初め)  
→前学期の学習内容の理解度や個人の課題を把握し、以後の授業に活かす。
  - ・ ○○期末テスト (学期末) →漢字・算数の満点者を表彰し、意欲を高める。
- ② 読書活動の充実 (今年度の月平均貸出冊数：一人平均46.3冊)
  - ・ 読み聞かせ (木曜日の業前15分間・月曜日の昼休み15分間)  
→月曜日の業前15分間の読書タイムに加え、木曜日は全学級にボランティアに入っただき、読み聞かせを行っている。月曜日の昼休みには、図書室でも読み聞かせを行っている。

・ブックバッグの活用

→1年生に6年生手作りのブックバッグを贈呈し、机の横にかけて、隙間の時間にもすぐに本を手にとることができるようにしている。



〈ぐんぐんタイム〉



〈サマースクール〉



〈授業での図書館活用〉

(3) 学力向上を支える「授業規律の徹底」

① 三郷市「授業の心得」の徹底(市内共通8項目)

・学期ごとに教師と児童が評価

→全学級に「授業の心得」を掲示して意識を高めると共に、学期ごとに教師と児童が自己評価を行い、個人や学級としての課題を改めて把握し、改善に努める。

・学校公開日の保護者等による評価

→学校公開日の参観者にアンケートを取り、「授業の心得」8項目について評価していただく。結果は職員に周知し、課題意識をもって規律の徹底を図れるようにする。

② 教育に関する3つの達成目標「規律ある態度」の重点指導

・本校の課題を、月ごとの生活目標と関連させて取り組む。

→本校の課題である「あいさつ」「ていねいな言葉遣い」「整理整頓」は、月ごとの生活目標の中に盛り込む。クラス目標を話し合わせて決定し、取り組み、評価していく。

・「〇〇っ子の木」の廊下掲示

→学期ごとに、友達の良いところ・友達への感謝の言葉等を記したカードを貼り、友達に対するあたたかい心を育てる。(1学期:若葉→2学期:花→3学期:実)

(4) 家庭との連携(親子で取り組む活動の推奨)

① 家庭学習習慣の確立

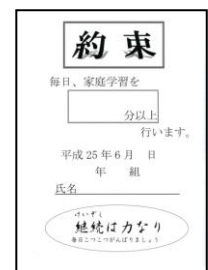
〈家庭学習の誓い〉

・「家庭学習の誓い」の配布

→児童が保護者と共に家庭学習の時間を決め、誓いを立てる。

・家族読書

→毎月23日は前谷家族読書の日とし、「ノーテレビ・ノーゲーム」で家族で読書に取り組みませ、カードに記録させる。



② 基本的な生活習慣の確立

〈家族読書〉

・〇〇すくすくチェックカード

→学期初め1週間の家庭生活を把握し、指導する。

・規律ある態度「冬のキャンペーン」

→課題である「くつそろえ」「手伝い」を重点に、家庭での取組を強化させる。



4 成果と課題

○規律ある学習環境が土台となり、児童の学ぶ姿勢や意欲が向上している。

○校内研修や授業研究会を行うことで、授業改善が図られている。思考力・表現力を育む取組を継続してきたことで、児童の発言やノートの記述にその成果が表れてきている。

○日課を見直し、業前や放課後に習熟の時間や個別指導の時間を確保したことで、既習事項を定着させ、一人一人に基礎的・基本的な学習内容を理解させることができてきている。

▲家庭の理解と協力を得ながら家庭学習の習慣を定着させ、内容の充実を図る。